

ゼロエミッション・アクセラレーティング・シップファイナンス ~Zero-Emission Accelerating Ship Finance~ 概要ご説明資料

2022年9月



**Zero-Emission Accelerating
Ship Finance**

 **DBJ** 株式会社日本政策投資銀行
企業金融第4部 海運班

ClassNK 一般財団法人日本海事協会
ゼロエミトランジションセンター

本プログラム概要・創設の目的・背景

■ ゼロエミッション・アクセラレーティング・シップファイナンス ~Zero-Emission Accelerating Ship Finance ~とは？



Zero-Emission Accelerating
Ship Finance

- 今後、脱炭素・環境規制が強まっていく海運業界において、「脱炭素・環境配慮性能・先進性」という観点での船舶の評価とDBJによる融資がセットになったプログラムです。

■ 創設の目的・背景

- 海運業界における「トランジション」は、次世代船用燃料の主力が確定しておらず先行きが不透明です。
- 加えて、次世代燃料船等の環境配慮性能の高い船は、一般的な重油炊きの船と比較して船価が高額となるにも関わらず、用船料・運賃への転嫁が十分でない場合もあり、難しい経営の舵取りが要求されております。
- しかしながら、今後、環境規制強化や炭素税導入が想定される海運業界において、環境配慮性能の高い船舶が将来に亘って資産価値が失われない蓋然性が高いかどうかの評価はできるはずです。
- 本プログラムは、DBJとClassNKがお互いの知見を持ち寄り、環境配慮性能の高い船舶の資産価値の正当な評価とDBJの融資とを融合したものであり、本プログラムを活用する事業者のトランジションに係る取組の後押しを目的としたものです。

本プログラムの評価観点・設問構成・評価結果

- 以下5つの評価テーマ毎に対象船舶の評価を実施します。各テーマ毎の評価内容を総合的に判断し、評価結果を判定致します。
- 認証は、「脱炭素・環境配慮性能・先進性」が十分高いと評価できる船舶のみに付与されます。評価内容に応じて、2段階の評価結果となります（A評価に満たない場合は、評価なしとなります。）。

評価テーマ	評価観点	評価項目数
GHG削減	主機機関設備（代替燃料、代替燃料ready） 風力補助推進装置等の搭載状況、等	13問
NOx・SOx・PM削減	NOx3次規制、燃料油中の硫黄分濃度基準の充足状況、等	3問
その他大気汚染防止	環境ガイドラインの充足状況（その他大気汚染防止関連）	5問
海洋汚染防止	環境ガイドラインの充足状況（海洋汚染防止関連）	14問
IT機能	エネルギー消費状況監視設備、航路計画・トリム最適化検討機能、等	3問
合 計		38問 100点

総合得点	評価結果	評価基準
80点以上	S評価	脱炭素・環境配慮性能・先進性が特に高いと評価できる
60点以上、80点未満	A評価	脱炭素・環境配慮性能・先進性が高いと評価できる

※評価内容・評点基準は、現時点でのものであり、必要に応じて見直される場合がございます。

運営体制

- DBJとClassNKは、本プログラムの創設・共同運営に関する業務協力協定（アライアンス）を締結し、本プログラムのご提供を開始しました。
- 評価業務自体は、全てClassNKにより実施されます。評価のお申し込み・評価必要書類のご提出・評価結果のご通知につきましては、全てClassNK・お客様間で実施される形です。
- 評価結果については、DBJ・ClassNKから[对外公表](#)させて頂く予定です。

